

～葉たばこのは種式～

## 豊作を願って種まき！

1月11日に頼娃町別府の葉たばこ育苗センター、21日に南さつま市の葉たばこ育苗センターにおいて葉たばこのは種式が行われました。

令和3年産の葉たばこは早期の梅雨入りなど天候に悩まされましたが、10㎡当たり収量は前年比131%で豊作となりました。参加者は、令和4年産が前年に引き続き豊作となるよう祈願しながら種をまきました。本市の令和4年産の葉たばこは、生産者18戸で面積約58haを栽培します。



▲1月11日、頼娃・知覧地域の生産者などによる種まき

～川辺町高田地区の鬼火たき～

## 無病息災を願う！

1月7日、川辺町高田地区で鬼火たきが行われました。鬼火たきには、竹で組まれた高さ約25メートルの大きなやぐらが用意されました。

大勢の方々が見守る中、寅年生まれの子どもや大人がやぐらに点火すると、火の粉を散らして燃え上がり、一年の無病息災を祈りました。住民の方々は、防火や魔よけの御利益を得ようと火であぶったササを持ち帰りました。また、今年も花火が打ち上がり冬空を彩りました。



▲火柱が噴き出るように勢いよく燃えるやぐら

～第6回南九州市企業合同説明会～

## 地元の企業を知ろう！

1月24日から2月4日まで、市内3高校の1年生155人を対象に企業合同説明会が開催されました。

この説明会は、地元高校生が地元企業を知り、企業が自社の魅力を伝える機会として、市とハローワーク加世田・指宿が共催し、各学校で動画視聴による分散形式で行われました。

説明会に参加した生徒の将来の選択肢に地元就職が増えることにより、地元定着の促進が期待されます。



▲企業紹介の動画を熱心に視聴する薩南工業高校の情報技術科1年生

～「宝くじおしゃべり音楽館」を開催～

## おしゃべりとすてきな歌を堪能！

12月12日、川辺文化会館で「宝くじおしゃべり音楽館」が開催されました。

当日は、春風亭小朝さんの進行により、小原孝さんのピアノ、島田歌穂さんの歌、藤野浩一さん指揮による「おしゃべり音楽館ポップスオーケストラ」の演奏など、楽しいおしゃべりとすてきな歌と演奏に会場は盛り上がりました。なかでも、島田歌穂さんが「南九州市は、私の大好きな知覧茶の町です」と話したところは、この日一番の盛り上がりでした。



▲楽しいおしゃべりとすてきな歌と演奏で大いに盛り上がりました

## ～ソロコンテスト伴奏で最高賞 上木原夢庵さん～ 最優秀伴奏者賞おめでとう！

12月18日、始良市の加音ホールで第48回鹿児島県吹奏楽ソロコンテストが開催され、クラリネットソロのピアノ伴奏を務めた知覧中学校3年の上木原夢庵さんが、中学校部門において最優秀伴奏者賞を受賞しました。

このコンテストは、大勢で指揮者に合わせて演奏する吹奏楽とは違い、個々のテクニックや表現力を競うコンテストで、ソロ演奏者と伴奏者がそれぞれ審査されます。



▲最高賞を受賞した知覧中3年の上木原夢庵さん

## ～全国作文コンクールで優秀賞 山村悠斗君～ あいさつだけはしっかりと！

1月11日、「社会を明るくする運動」全国作文コンクールで優秀賞を受賞した中福良小学校6年の山村悠斗君が市長を表敬訪問しました。

山村君は、保護司による出前授業の中での「ぐれてしまったのは仕方がない。でも、あいさつだけはしっかりとしようや」の意味を考え、あいさつの大切さを学び、自分たちのあいさつ運動を見直した出来事を作文にまとめました。



▲優秀賞を受賞した中福良小6年の山村悠斗君

## ～川辺仏壇伝統工芸士 瀧山福次さん～ 伝統の技を引き継ぐ仏壇職人

12月2日、仏壇木地師として活躍される瀧山福次さんが、令和3年度伝統的工芸品産業功労者九州経済産業局長表彰を受賞しました。

瀧山さんは、昭和43年より職に就き、これまで伝統工芸士として社会科見学の実演講師を務めるなどさまざまな活動を通じて仏壇産地振興に寄与されています。

この受賞を機に今後のますますの活躍が期待されます。



▲受賞した瀧山福次さん（右から2人目）

## ～優良PTA文部科学大臣賞 穎娃小学校PTA～ 地域に根ざしたPTA活動で受賞

12月22日、令和3年度優良PTA文部科学大臣賞を受賞した穎娃小学校の池畑嘉也PTA会長と下野彰久校長が市長を表敬訪問し、受賞報告を行いました。

池畑会長は、「これからも『地域と共に歩む、穎娃の子』をキャッチフレーズとして、地域に根ざしたPTA活動を展開していきます」と力強く意気込みを話しました。



▲穎娃小学校の下野校長と池畑PTA会長（左から）

## ～薩南工高校生が「足踏み式消毒薬スタンド」を寄贈～ 図書館で活用しています！

1月13日、薩南工業高等学校建築科の生徒3人から手作りの消毒薬スタンドが知覧図書館に寄贈されました。授業の一環で制作された消毒薬スタンドは、使い勝手を考えながら試行錯誤して、大人・子ども用と2種類の足踏み式を完成させました。「コロナ禍で、市民の皆さんに役立つモノ作りをしたかった」という生徒の思いが詰まった消毒薬スタンドは、知覧図書館ロビーで活用されています。



▲消毒薬スタンドを寄贈した薩南工業高校の生徒

## ～薩南工高校生が「箱わな」を寄贈～ イノシシやアナグマを捕まえて！

1月18日、薩南工業高等学校機械科3年生5人から大小各1台ずつの「箱わな」が市に寄贈されました。

この「箱わな」は、課題研究実習の一環として生徒たちが昨年6月から授業や放課後を利用して、半年間かけてコツコツと溶接や塗装を行い、1月に完成しました。今後は、有害鳥獣捕獲活動で使用する予定となっており、市の農作物の被害軽減に大きく役立てられるものと期待されています。



▲箱わなを寄贈した薩南工業高校の生徒ら

## ～全国大会へ 知覧中央ソフトボール少年団～ 全国大会への切符をつかむ！

11月28日、12月4日に春山緑地公園で第15回春季全日本小学生選抜ソフトボール大会県予選（5年生以下大会）が開催されました。

各地区の予選を勝ち抜いた32チームが全国大会の切符をかけて熱戦を繰り広げ、創団9年目の知覧中央ソフトボールスポーツ少年団（浮辺・霜出・中福良・松山・松ヶ浦小学校の合同チーム）が準優勝しました。3月に福岡県北九州市で開催される全国大会に出場することになりました。



▲県予選で準優勝し、全国大会に出場する知覧中央ソフトボールスポーツ少年団の選手ら

## ～川辺ライオンズクラブより～ 交通安全横断旗を寄贈

2月3日、川辺ライオンズクラブの高田<sup>まさお</sup>政雄会長が市長を表敬訪問し、交通安全横断旗を寄贈しました。

川辺ライオンズクラブは次代を担う青少年の健全育成の一環として、今年は横断旗を寄贈する取り組みを行いました。

横断旗は川辺地域の小・中学校に届けられ、児童・生徒などの登下校時の横断歩行を守るために活用されます。



▲横断旗を寄贈した川辺ライオンズクラブの高田政雄会長（左）